CCRF-CEM□胞

300147

CCRF-CEM□胞は、免疫腫瘍学や免疫学の研究によく用いられるヒト Tリンパ芽球の一種である。これらの □胞は、急性リンパ芽球性白血病（ALL）の4歳女性白人の末梢血から単離された。

CCRF-CEMは懸濁状態で増殖し、スピナーフラスコで培養すると高い □胞密度に達する。CCRF-CEM□胞の核型分析から、染色体数は41から95の範囲で、47本であることが示された。特定の染色体の一貫した減少や増加は見られず、マーカー染色体もない。しかし、 45本の染色体を持つ□胞の28%がC-を示し、全□胞の53%が余分なDを、35%が余分なFを有していた。

CCRF-CEM□胞は腫瘍形成性があり、シリアンハムスターに腫瘍を引き起こすことがある。これらの □胞はCD3´CD5´CD7´CD4の遺伝子と抗原を発現している。さらに、アイソザイム分析では、ADA, 1; ES-D, 1; G6PD, B; GLO-I, 1; PEP-D, 1; PGD, C; PGM1, 1; PGM3, 0を示した。

ある研究により、レスベラトロールとプレドニゾロンの併用が、CCRF-CEM□胞において時間および用量依存的にアポトーシスを誘導することが示された。この併用療法は、 BAxの過剰発現とBCL2のダウンレギュレーションに対して相乗効果を示した。

概要

□明

CCRF-CEM□胞は、免疫腫瘍学や免疫学の研究によく用いられるヒト Tリンパ芽球の一種である。これらの □胞は、急性リンパ芽球性白血病（ALL）の4歳女性白人の末梢血から単離された。

CCRF-CEMは懸濁状態で増殖し、スピナーフラスコで培養すると高い □胞密度に達する。CCRF-CEM□胞の核型分析から、染色体数は41から95の範囲で、47本であることが示された。特定の染色体の一貫した減少や増加は見られず、マーカー染色体もない。しかし、 45本の染色体を持つ□胞の28%がC-を示し、全□胞の53%が余分なDを、35%が余分なFを有していた。

CCRF-CEM□胞は腫瘍形成性があり、シリアンハムスターに腫瘍を引き起こすことがある。これらの □胞はCD3´CD5´CD7´CD4の遺伝子と抗原を発現している。さらに、アイソザイム分析では、ADA, 1; ES-D, 1; G6PD, B; GLO-I, 1; PEP-D, 1; PGD, C; PGM1, 1; PGM3, 0を示した。

ある研究により、レスベラトロールとプレドニゾロンの併用が、CCRF-CEM□胞において時間および用量依存的にアポトーシスを誘導することが示された。この併用療法は、 BAxの過剰発現とBCL2のダウンレギュレーションに対して相乗効果を示した。

ティッシュ	末梢血
病気	白血病

同義語

- CCRF/CEM
- CCRFCEM
- CCRF.CEM
- CCRF CEM
- CCRF
- CEM
- CEM-CCRF
- CEM-CCRF (CAMR)
- CCRF/CEM/0
- CEM/0
- CEM-0
- CCRF-CEM/S
- GM03671
- GM03671C

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	サスペンション

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	多形□胞、大きな核、微絨毛の形成
細胞の種類	Tリンパ芽球
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで
倍数性	異数体
MSIの状態	不安定（三井住友海上）
倍増時間	24時間

識別子

引用

CCRF-CEM (Cytion カタログ番号 300147)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0207

発現と感受性

タンパク質の発現

P53陰性

抗原発現

CD3 B（37%）、CD4（50%）、CD5（95%）、CD7（77）

アイソザイム

G6PD´B

ウイルス

EBV陰性

逆転写酵素	ネガティブ

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640´w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃´5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10%熱不活性化FBSを添加する。

継代培養

培地を定期的に追加または交換して培養を維持する。培養開始時の □胞密度は5×10^5□胞/mlとし、最適な増殖のため□胞濃度を3×10^5～1×10^6□胞/mlの範囲に保つ。

播種密度	1 x 10^5 □胞/ml で新たな培養を開始する
流体の更新	3日ごと
解凍後の回復	少なくとも48時間、□胞を凍結から回復させる。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	4年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB